

令和8年1月29日

御殿場市長 勝 又 正 美 様

総務委員会議会報告会に伴う検討の提言について

日頃、議会運営につきましてはご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、総務委員会において令和7年度委員会テーマとして『未来へ開けるまちづくり』を掲げ、テーマの設定目的として『SDGs 未来都市として、人口維持、人口増加につながる施策や取組を調査・研究し、魅力あるまちづくりを目指す』として活動しました。

先日、その活動内容をSDGs 未来都市推進協議会のうち市内の委員18名を対象に「持続可能な住み続けられるまちづくり ～人が集い つながる 御殿場の未来事業～」をテーマに議会報告を実施しました。

報告会は、本市のプロジェクト「富士山木のおもちゃ美術館」、「(仮称) 富士山の恵み産業パーク」に関連した行政視察等について基調報告をした後、3グループに分かれ活発な意見交換を行い、ご提案いただいたご意見等及び総務委員会の提案等は、本市の両プロジェクトの推進、ひいては人口減少対策につながる施策の一助になればと考え、御殿場市に検討の提言をすることとしました。

プロジェクトの施設設立はゴールではなく、未来へのスタートです。「開かれた議会を目指した市民の意見の尊重」を目的に報告会を実施している趣旨をご理解いただき、また、市民の声を市政に反映すべくご検討いただきますよう提言します。

御殿場市議会

委員長 神 野

副委員長 高 木 理 文

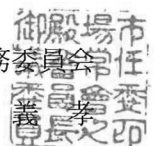
委 員 勝間田 幹 也

委 員 菅 沼 芳 徳

委 員 中 島 宏 明

委 員 林 義 浩

委 員 横 山 大



「富士山木のおもちゃ美術館」、「(仮称) 富士山の恵み産業パーク」について（提言）

1 富士山木のおもちゃ美術館

(1) 持続可能な施設運営をする。

- ア 高付加な体験メニューの充実、定期的なテーマ・遊具などの更新、子供を主としたイベント企画、大人も楽しめる等による来場者の維持・増加
- イ 心温まる接客と人材育成、学芸員の育成などによる質の高い顧客体験の提供
- ウ 施設利用者に関するデータの収集及び分析を行い、結果を踏まえ利用者ニーズに即した効果的な施設運営を推進し、収支バランスを確保

(2) 市民に愛され、利用される施設にする。

- ア お年寄りには語り部としてのイベント参加など市民を巻き込んだ運営
- イ 市民が優先的に利用できる特定日の設定や学校・園行事における施設利用

(3) 木育を普及する。

- ア 本市は演習場を含めると半分以上が森林であり、富士山木のおもちゃ美術館を木育の象徴施設として楽しみながら森林・木の重要性を学べる場にするとともに市民の木育への関心を更に普及
- イ 森林関係団体・事業主等に木のおもちゃの一品の提供への協力依頼

2 (仮称) 富士山の恵み産業パーク

(1) 持続可能な施設にする。

- ア 収益を確保し収支バランスを保つ。このため運営方針もＢＴコンセッション混合型を取り入れるなど民間活力を中心に据えるとともに、アウトレットの１０００万人の集客力を活かす。また、地元企業とのコラボなど企業の特徴の活用
- イ 「ここでもしか買えない」地域限定商品の開発及び常に新しい価値を提供する研究開発機能の導入など独自性と地域ブランドの創出
- ウ ユニバーサルデザインの導入、多様な交通手段への対応などアクセシビリティの確保及び利便性と快適性を支えるインフラ整備

(2) 人が集い、つながる施設にする。

- ア 「富士山の麓で、水の恵みを未来へつなぐ交流創造拠点」をコンセプトとしていることから、施設が地下水を活用できる構造とする。また、水をテーマとしたモニュメントの設置についての検討
- イ 音楽・アウトドア・他地域との連携による新体験の創出、他地域との共同企画で相乗効果を狙うなど多様な連携による価値の融合
- ウ マルシェ、農業体験、ワークショップ、イベントなどの常時企画の実施
- エ 地元食材を活かした食の提供、思い出に残るイベントや写真映えする仕掛けなど質の高い顧客体験の提供

(3) 市民に愛され、利用される施設にする。

- ア 地元の人が買い物に寄れるような地元に愛されお得感が得られる商品の提供
- イ 地元農産物「ごてんばこしひかり」の付加価値おにぎりなど「御殿場」の素晴らしい名称を生かした商品等への地元生産者・企業の参加